

## VI.指導者講習会開催ガイドライン

## 1. 趣旨

本規程は、茨城県若手リハ専門職卒後研修に係る監督者・指導者・准指導者（以下「指導者等」という。）として必要な講習会（以下「指導者講習会」という。）の形式、内容等を定めることにより、指導者講習会の質の確保を図り、もって指導者等の資質の向上及び研修を行う病院・施設等における適切な指導体制の確保に資することを目的とするものである。

## 2. 指導者講習会の開催指針

### (1) 講習会実施担当者

事務局である茨城県により指定された機関が、指導者講習会の企画、運営、進行等を行うこと。

### (2) 指導者講習会の開催期間

指導者講習会の開催期間は、原則として、実質的な講習時間の合計は、16 時間以上であること。分割した開催も可能とするが、その場合であっても、指導者講習会において必須とされるテーマが網羅され、開催日の間隔を可能な限り短くする等、研修内容の一貫性に配慮すること。

### (3) 指導者講習会の形式

指導者講習会は、次に掲げる要件を満たすこと。

- 1) 指導者講習会の指針があらかじめ明示されていること。
- 2) 費用は無料とすること。

### (4) 指導者講習会におけるテーマ

指導講習会におけるテーマは、次の 1～4 に掲げる項目を必ず含むこととし、必要に応じ、5 及び 6 に掲げる項目を加えること。

- 1) 茨城県若手リハ専門職卒後研修制度の理念と概要（ジェネラリストとしての基本的診療能力を身につけることの重要性を含む）
- 2) 茨城県若手リハ専門職卒後研修の到達目標と修了基準
- 3) 茨城県若手リハ専門職卒後研修プログラムの実施方法（研修目標、研修方略及び研修評価の実施計画の作成）
  - ・研修者が研修目標を達成するために、どのような方法で、誰の指導によって研修を行うか等の具体的な計画・方法（指導方法含む）及び準備をすることの意味について。
  - ・どのような場面で、誰が、どのような評価方法で研修者を評価するか等の具体的な評価計画・方法について。

・研修プログラムの立案・実施にあたって、例えば、以下の事項を重視することが考えられること。

リハ医療の社会性	患者との関係	医療面接
医療安全管理	院内感染対策	多職種協働(チーム医療)
地域医療（患者が居住する地域の特性に即した医療や病診連携等）	地域保健（保健所等の役割や健康増進への理解等）	急変時対応（頻度の高い急変時対応の初動等）

#### 4) 指導者の在り方

指導者が身につけるべき指導方法及び内容としては、例えば、以下の内容が考えられること。

フィードバック技法	コーチング	メンタリング	メンタルケア
プロフェッショナリズム	根拠に基づいた医療 (Evidence-based Medicine : EBM)	キャリアパス支援	出産育児等の支援体制

#### 5) 指導者及び研修プログラムの評価

#### 6) その他茨城県若手リハ専門職卒後研修に必要な事項

### (5) 指導者講習会の修了

指導者講習会の修了者に対して、修了証書（様式第 11 号）が交付されること。

## 3. 指導者等の育成

若手リハ専門職卒後研修を効果的に実施するためには指導者等の育成が重要であることから、ここでは研修を企画する上で必要な到達目標、能力について示す。

### (1) 到達目標

- 1) 若手リハ専門職の職場への適応状況を把握し、若手リハ専門職へ基本的な技術の指導及び精神的支援ができる
- 2) 施設の若手リハ専門職卒後研修計画に沿って、部署における若手リハ専門職卒後研修の個別プログラム立案、実施及び評価ができる
- 3) 若手リハ専門職同士、指導者等同士の意見交換や情報共有の場を設定し、若手リハ専門職の指導者との関係調整と支援ができる。

### (2) 指導者等に求められる能力

- ・最適な研修方法を選択して、若手リハ専門職に教育的に関わる能力
- ・若手リハ専門職を含むすべてのスタッフと適切な関係性を築く関係調整する能力およびコミュニケーション能力

- ・若手リハ専門職の臨床実践能力の修得状況、若手リハ専門職の置かれている状況を把握し、一緒に問題を解決する能力
- ・若手リハ専門職卒後研修の集合研修等と部署での研修の連動の促進できるように企画・計画する能力
- ・若手リハ専門職卒後研修の目標や研修体制を理解し、研修計画を円滑に運用できるよう、部署のスタッフに分かりやすく伝達する能力
- ・若手リハ専門職の臨床実践能力、研修計画などの評価を行う能力

### (3) 学習内容

以下の内容を学習し、役割を遂行できる能力を身につけていることが必要である。

#### 1) 知識

- ・若手リハ専門職をめぐる現状と課題
- ・若手リハ専門職卒後研修体制と研修計画
- ・若手リハ専門職卒後研修における指導者等の役割
- ・若手リハ専門職の卒前教育の内容
- ・「茨城県若手リハ専門職卒後研修規程集」の理解
- ・若手リハ専門職卒後研修を通しての臨床実践能力の構造
- ・若手リハ専門職が陥りやすい研修上の問題や困難とその解決方法
- ・指導者が経験しやすい若手リハ専門職卒後研修における指導上の問題や困難とその不安・負担感を軽減する解決方法
- ・成人学習者の特徴と教育方法
- ・指導方法や教育的な関わり方
- ・評価の考え方とその方法、及びフィードバック方法

#### 2) 技術

- ・若手リハ専門職の一人ひとりの臨床実践能力に合った具体的な指導方法や支援につながる評価技術
- ・問題解決技法
- ・若手リハ専門職を育てる組織風土づくりができる技術
- ・円滑な人間関係の構築のためのコミュニケーション技術
- ・年間研修計画、個別の研修計画を立案する技術

#### 3) 姿勢・態度

- ・相手を尊重した態度で指導する
- ・一緒にどうしたらよいか考える
- ・認めていることを伝え、励まし、若手リハ専門職の自立を支援する
- ・若手リハ専門職との関わりや指導上で、困難や問題と感じた場合は、その他の指導者へ相談、助言を求められることができる

**(4) 指導者研修プログラムの例**

指導者等に対する研修においては、指導者としての不安・負担感を軽減することを目的として、指導熟練者等による面接や支援のための研修を定期的実施する必要があるといわれている。

<指導者研修プログラム(案) >

	研修項目	実施方法	内容16コマ（16時間）
1	組織の教育システムと指導者の役割	講義	<ul style="list-style-type: none"> <li>・組織の理念と人材育成の考え方</li> <li>・リハ専門職卒前教育の現状と若手リハ専門職の技術習得状況</li> <li>・指導者の役割と期待</li> <li>・茨城県若手リハ専門職卒後研修の概要</li> </ul>
2	到達目標の理解と設定	講義	<ul style="list-style-type: none"> <li>・到達目標の理解と設定</li> </ul>
3	教育・学習に関する基礎知識	講義	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習理論：概念、動機付け、成人学習等</li> <li>・教育方法：チームの力を活用した学習支援</li> <li>・カリキュラム，教育方法，教育評価など年間教育の必要な知識</li> </ul>
4	課題と解決策の検討と具体的支援方法	講義	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自身の経験に基づく若手リハ専門職、指導者等、教育システムに関する課題の明確化と解決策の検討</li> </ul>
5	情意領域の指導方法	講義・演習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コーチング</li> <li>・カウンセリングスキル</li> <li>・コミュニケーション</li> </ul>
6	知識の指導方法	講義・演習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・知識の評価方法と指導方法に必要な知識</li> </ul>
7	精神・運動領域（技術）の指導方法	講義・演習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・技術の評価方法と指導方法に必要な知識</li> <li>・研修者同士での技術指導の実演</li> <li>・OJTの理論</li> </ul>

(様式第 11 号)

修了証書 (案)

(参加者の氏名)

あなたは、茨城県若手リハ専門職卒後研修に係る指導者講習会を修了したことを証します。

令和×年×月××日